

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
良岡理一郎 議員	1 喜界航路の週4便運航状況及び今後の対策について	(1) 6/1から7/31の間の運航状況について。 ①当初の運航計画日数 ②気象状況等による抜港（寄港不可）及び欠航回数 ③臨時便の運航日数 ④運航の実日数、運航率 (2) 週4便体制は意見書提出を条件に承認されている。すでに3カ月が経過している。要望事項の現時点の進捗を伺う。 ①船員確保のめどが立った場合は増便について検討する。 ②人流、物流への影響がないよう検証する。 ③空白曜日の日、月、木の解消において協力すること。	町長
	2 糖蜜回収対策について	(1) 対策は明確である。進捗を伺う。 ①回収タンク（400 t）設置 ②圃場散布（2.5㍓ 83 t） ③回収船2隻体制の維持 ④残量の回収（600 t）	町長
	3 野生シカ生息頭数調査の進捗について	(1) R7年度生息頭数調査の進捗を伺う。 ①調査場所 ②調査方法 ③調査時期 ④駆除方法と駆除時期	町長
	4 R8年度軍事訓練、国民保護訓練等について	(1) 軍事訓練の概要を伺う。 ①訓練実施日程 ②訓練の内容 ③訓練場所 ④公道、降下地点等の安全確認 ⑤町民への告知、天候等による変更等の速やかな連絡 ⑥県・当該部隊からの訓練の連絡は何時か	町長

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
良岡理一郎 議員	4 R8年度軍事訓練、 国民保護訓練等について	(2) 国民保護訓練の進捗を伺う。 ①実施日程 ②行政、町民の訓練参加方法、人数 ③入院、入所、療養等要支援者らの避難方法 ④島外への避難先。避難方法 ⑤地下ダムの活用	町長
	5 役場職員体制について	(1) 直近の職員数、及び会計年度任用職員数の各々を伺う。 ①職員の定員数、現在の職員数、欠員数と補充対策 ②会計年度任用職員の定員数、現在の職員数、欠員数と補充対策 ----- (2) 令和8年度に向け職員の応募数が厳しい状況にある。現状と対策を伺う。	町長
	6 香典料のあり方について	(1) 物価の高騰、年金等収入の減少等の影響もあり、継続して町民の皆さんから「香典の目安額の見直し」の要望が出されている。町及び関係諸団体での進捗を伺う。	教育長
安藤 和久 議員	1 総合型運動公園の計画について	(1) これまで他の議員や私が質問しているが、総合型運動公園の計画は今後、どのように進めていくか。 ----- (2) ゲートボール場の建設を待ち望んでいる高齢者が多いが、テニスコートや幼児の運動会等と共有できる多目的施設の建設は考えていないか。	町長
	2 参議院選挙の投票率について	(1) 先の参議院議員選挙において、喜界町の期日前投票率は大島郡島内で高かったが、年代別の投票率はどうか。 ----- (2) 国政選挙の投票率を上げるために、町としてはどのような考えを持っているか。	町長
	3 教育行政について	(1) ヤングケアラーということばを耳にするが、喜界町の児童・生徒において、そのような生徒がいるかどうか。 ----- (2) 町内の幼稚園・小学校・中学校は敷地が広く、木や草が伸び放題になっているのが見られるが、シルバー人材センターを定期的に活用して、環境美化に努めることはできないか。	教育長

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
向井 博己 議 員	1 ライフラインに関 わる 町道の整備 及び県道の景観に ついて	(1) 昨年12月議会の質問の続きですが、上嘉鉄の坂道において木々の揺れによる通信線等の断線を心配しておりましたが伐採がされており安心しました。しかし、まだ樹木による断線が危惧されている所が集落内でも見受けられる。高齢者が自宅周辺を伐採できず放置されている状況がある。 今後、集落区長等と連携を図りながら集落内道路の環境整備に取り組むことができないか。 次に、県道伊砂～伊実久線の1km程ある歩道の樹木の伐採を県側に強く要望してもらいたい。 この歩道は街灯も整備されており奄美大島が眺望できる素晴らしい景観になるが。	町長
	2 移住定住促進による空き家バンクの条件と浄化槽の適正化について 置型公共浄化槽の導入	(1) 空き家バンクの活用は、何軒あるか。浄化槽の維持管理はされているか。喜界式浄化槽の家があるが、把握しているか。地下浸透式ということは、不法投棄であり由々しき事態である。そのような家が登録されていないか調査すべきである。このような問題は目を瞑るべきではないと考えるが見解を伺う。 ----- (2) 空き家バンクだけで無く喜界町全体でも見受けられる状態である。2002.3月には県保健所から、そのような家には改善するよう文書が出されている。町としては広報で幾度となく掲載しているが、戸別訪問して指導はしているか。令和4年度に保健所、環境保全協会、役場で調査した家で202軒あり、調査していない家を合わせれば相当数になると考えられる。そこで、個人設置型浄化槽に比べ市町村設置型公共浄化槽は、個人の負担が軽減される。喜界町では、SDGs に取り組んでいるが、17目標中6番目は安全な水とトイレである。それを踏まえて市町村設置型公共浄化槽の導入は考えられないか。	町長
	3 商工業への助成について	(1) 喜界町内には、特産品加工業者が多く見られるが農業に対しては様々な助成があるが、商工業に対しては何も無い。島外に特産品を出荷する際に運賃の助成等を考えられないか。	町長
中山 義浩 議 員	1 防災対策について	近年地震や台風、豪雨災害など激甚化しており、今までの常識や知識では対応できないような災害が増えている。本町でもいつ起きるか分からない災害に備え、被害を最小限にするため、現状や今後について伺う。	町長
		(1) 災害時、本町の避難所の数、場所等が適正だと考えるか伺う。	
		(2) 本町北部には津波が発生した際の避難所がない。多くの方は高台や公園に避難するが、身体を休めることができる避難所を建設することはできないか伺う。	

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
中山 義浩 議 員	1 防災対策について	(3) 本町の福祉避難所は何カ所でどこにあるのか伺う。 ①利用基準 ②優先順位 ③配置、人材 ④家族は何人まで入れるのか。 (4) ペット、愛護動物と共に避難できる避難所はあるか伺う。 ①動物と避難できる避難所を設置する必要があるのではないか。 (5) 今後の災害や景観の保護の観点から無電柱化は有効だと考えるが、本町としてはどのように考えているか伺う。	町長
	2 愛護動物火葬炉設置実現へ向けて	(1) R7年第一回定例会において質問したチリメーサーの利用について協議、検討するとの事だったがその後、進展があったのか伺う。	町長
	3 さとうきび操業の今後の課題について	(1) 課題となっている糖蜜問題、精糖期の操業を停滞させないために対策をされていると考えるが進捗状況を伺う。	町長
原田 尚樹 議 員	1 鹿児島～喜界～知名航路について	6月議会でも5名の議員が質問をした鹿児島～喜界～知名航路の減便問題だが、6月1日から減便運航されているが、町民の移動手段・物流について3点伺う。 (1) 減便については3カ月から半年で検証すると6月議会でも答弁されていたが、現在までの検証状況を伺う。また、検証状況をもとに取り組んでいることはあるか。 (2) 減便に伴い、鹿児島～沖縄航路の喜界島への導入に向けての可能性など、各企業に働きかけや陳情などしたのか伺う。 (3) フェリーあまみが就航し、約20年が経とうとしている。新造船に向けて、関係機関と連携など取り組みがあれば伺う。	町長
	2 運動部活動地域移行について	国の方で運動部活動の改革がH30年から行われてきているが、本町の運動部活動・文化部活動の地域移行について3点伺う。 (1) 本町の部活動地域移行の現状を伺う。 (2) 今後の運動部・文化部の地域移行の進め方を伺う。 (3) 6月議会でも質問した、きかい100スポーツクラブの要望書の現在の進捗を伺う。	教育長

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
原田 尚樹 議 員	3 本町の採用試験、魅力ある職場について	全国的に公務員の採用が難しい今般、本町の採用状況人材確保への取組など4点伺う。	町長
		(1) 本町の今年度の7月の試験応募の人数、試験関連費用を伺う。	
		(2) 本町の今年度の9月の試験応募の人数を伺う。	
		(3) 本年3月議会の土岐議員の質問への答弁で「職場の見える化の発信、職員動画の作成について検討する」ということだったが、検討結果を伺う。	
		(4) 本町の行政DXの取組について伺う。	
	4 高齢者宅配サービスについて	在宅で調理が困難な高齢者等に、栄養のバランスの取れた食事を配食するとともに、安否確認などを行う事業の「食」の自立支援事業について4点伺う。	町長
		(1) 1食あたりの料金（町負担額＋自己負担額）を伺う。	
		(2) いま現在の助成額の根拠を伺う。	
		(3) 「食」の自立支援事業を利用している世帯数を伺う。	
		(4) 現在の事業者数を伺う。	
	5 本町の人口減少について	全国的に人口減少を辿る中、新聞の情報ではあるが本町の7月の推計人口が5,987人となった。そこで、本町の人口減少対策について4点伺う。	町長
		(1) 本町の人口減少に対しての要因を伺う。	
		(2) 本町の人口減少に対しての対応策・取組を伺う。	
		(3) 対策に対しての進捗を伺う。	
		(4) 11月に本町の若者を対象に実施されたアンケート調査の中の「安心して子供を産み育てるためには」の問いに「産科・小児科の充実」という回答が多かった。この結果を受けて今後どのような対応を検討しているか伺う。	
	6 オーガニックビレッジについて	有機農業の推進拠点となる地域（オーガニックビレッジ）について2点伺う。	町長
		(1) 農林水産省のオーガニックビレッジについて本町の考えをお示しください。	
		(2) いま現在の喜界島の土壌・周辺の海の環境について本町の認識を伺う。	

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
嶺 和代 議 員	1 高齢者配食サービスについて	① 喜界町で配食サービスを行っている事業所は何社あるのか。 ② 喜界町全体の配食数を伺う。 ③ 配食サービスを受けられない高齢者がいると聞いているが、全体の数に制限や条件を設けているのか伺う。	町長
	2 道路の環境整備について	① 定期的に道路の草刈りをされているのは確認しているが、多くの路線でまだ手が届いていない箇所がある。予算の増額を考えていただけないか伺う。	町長
	3 带状疱疹ワクチンについて	① 带状疱疹予防注射の件ですが、厚生労働省は65歳を迎える方と提示されていますが、健康な方でも60歳から接種の対象にならないか。また、料金も高額なので補助が出来ないか伺う。	町長
土岐 和貴 議 員	1 男女共同参画関連について	先日、町民を対象に「男女共同参画社会に関する住民意識調査アンケート」が配布された。国の男女共同参画基本法に基づき、全国の自治体で推進計画を策定する流れの中で、本町でも調査が行われたものと理解している。一方で、国全体では「直接的に男女共同参画を目的とする予算」だけでも3,000億円以上、さらに「間接的に関連するとされる施策」を含めると10兆円を超える規模の予算が計上されている。実際に町で進められている施策が国の指針をなぞるだけの形式的なものに終わらないか、懸念している。そこで以下の点について伺う。	町長
		(1) アンケート実施の目的と成果の活用	
		① 今回のアンケートを実施した目的は何か。	
		② 回収結果をどのように分析し、町の施策へ反映するのか。	
		(2) 設問内容の妥当性	
		① 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった設問は、かえって男女対立を強調しかねないものだが、町として設問内容をどの程度チェックしたのか。	
		② 男女共同参画とLGBTQを同列に扱う設問は、町民にとって理解しやすいものだったのか。	
		(3) 国の予算規模と町への影響	
		① 男女共同参画関連予算が国全体で10兆円を超える中で、町にどのような形で事業や予算が影響してくるのか。	
		② 町として、国の一律的な事業推進に追随する姿勢でいくのか。	

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	1 男女共同参画関連について	(4) 今後の計画策定について ①今後、男女共同参画基本計画を町として策定していく際、国の指針をそのまま反映するのか。それとも喜界町の実情（少子化・高齢化・担い手不足など）を踏まえた独自色を打ち出すのか。 (5) 町民参画への転換 ①男女の比率や形式的な施策ではなく、町民一人ひとりの声を幅広く反映させる”町民参画”としての仕組みづくりが大切ではないか。	町長
	2 サンゴ礁保全対策事業・サンゴ科学研究所関連について	前年度及び今年度の当初予算において、サンゴ礁保全対策事業やサンゴ礁科学研究所関連の予算配分や補助額が高く計上されている。サンゴ礁保全やジオパーク認定に向けた取り組みの重要性は理解するが、町民、とりわけ島の子どもたちへの還元や教育効果を重視し、行政自らも主体的に取り組む姿勢が求められる。財政バランスを踏まえ、慎重に進めていただきたい。 (1) サンゴ礁保全事業、サンゴ科学研究所への予算配分の目的・効果 ①サンゴ礁保全対策事業やサンゴ礁科学研究所関連予算の総額・補助率とその効果について。 ②高い補助額を設定する理由とその効果測定（町民・子どもたちへの波及効果）についてどう考えているか。 ③サンゴ礁の研究やジオパーク認定に向けた取り組みを、島の子どもたちの教育や体験活動にどう具体的につなげているか。 ④みらい会議の開催は委託に依存せず、行政が主体的に関わるべきではないか。 (2) 行政の主体性と役割 ①今後、町として独自に取り組むべき研究・教育・環境保全の方向性をどのように考えているか。 ②サンゴ礁の研究やジオパーク認定は将来的に大きな意義がある一方、短期的な町財政や他分野（子育て・福祉・産業振興）とのバランスも重要である。今後どのように予算配分を行っていく考えか。	町長

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	3 子どもたちのスポーツ振興について	本町の子どもたちがスポーツを通じて夢や希望を育み、将来の喜界町を担う人材として成長していくためには、より多くの挑戦の場や交流の機会を提供することが不可欠である。しかし現状では、島外大会への参加は交通費・宿泊費等の負担が大きく、機会が限られている。また、スポーツ合宿誘致についても予算規模が小さく十分に拡充できていない。町として、教育的意義と地域経済への効果を両立させながら、子どもたちが輝ける場所を提供する取り組みをさらに推し進めるべきではないか。	教育長
		(1) スポーツ合宿誘致について	
		①今年度実施されたスポーツ合宿誘致の件数・参加者数・町内経済効果について、どのように評価しているか。 ②現行の予算（60万円）では十分とは言えない。来年度以降、増額を検討し、より積極的に実施する考えはあるか。	
		(2) 子どもたちの島外大会参加支援について ①ふるさと納税で得た自主財源を子どもたちの教育・スポーツ分野に還元する仕組みを設ける考えはあるか。 ②島外大会や遠征補助、スポーツ合宿交流など、子どもたちの挑戦を後押しする事業に自主財源を充てることが可能ではないか。	
生島 常範 議 員	1 「住み続けたい島」にするために	人口減少対策の為に、全課挙げて「住み続けたい島」、「住み続けられる島」に向けた対策が急務である。	町長
		(1) 「子ども通院費等助成事業」は有難い事業だが、保護者同伴で通院となり、家庭への負担が大きい。県、国への要望も視野に、島内病院への支援強化で小児科医の常駐を目指せないか伺う。	
		(2) 今年度から町単独事業として実施している「難病・ガン患者等治療の為に旅費助成事業」の利用状況を伺う。また、支援範囲拡充の要望もある。検討できないか伺う。	
		(3) フェリー減便後の影響調査を兼ねた町民向けアンケートを早め実施するとの事だが、今後の計画と対応を伺う。	
	2 教育の魅力化でグローバル人材育成を	人口減少、少子化等により島内学校の衰退が危惧される。喜界町も他地域同様、「官・学・民・地域」が連携して取り組む時期だと思う。	教育長

令和7年第3回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
生島 常範 議 員	2 教育の魅力化で グローバル人材 育成を	(1) 喜界町に縁のある生徒を対象にした「ふるさと 留学生」を募集したが、成果と課題を伺う。	町長
		(2) 移住・定住促進を目的に「離島留学事業」を計 画している。その概要を伺う。	教育長
		(3) 小・中・高・サンゴ礁科学研究所との連動を強化 して、他との差別化を図り、教育環境のより一層の 充実と魅力ある地域資源もコーディネートできる人 材育成・確保が急務と考えるが見解を伺う。	町長 教育長
	3 町民憲章が目指す 「美しい町」に向け て	喜界町は「日本で最も美しい村連合」に県内唯一加 盟している。年内には「日本ジオパーク登録」も目指 している。議員発議で「ポイ捨て禁止条例」制定の要 望もあり、全町民の意識向上が課題。	町長 教育長
		(1) 町長が目指す「美しい町」の姿を伺う。また、 現状の認識と課題を伺う。	
		(2) 各課主管で「ふるさと美化活動」、「青少年ふる さと美化活動」、「全島一斉美化活動」、「農業廃 プラスチック処理事業」、「海洋漂着物回収事業」 等を実施している。施政方針で「区長会とも連携し ながら、ポイ捨て防止に取り組む」とある。その成 果と課題を伺う。	
	4 「危機的状況に ある言語・方言 サミット」開催 について	(1) 文化庁担当者が来島し開催に向けて協議したと のこと。開催日程等、現時点における計画等を伺 う。	教育長
		(2) サミット開催で期待できる効果等を伺う。	
		(3) サミットに向けて「推進協議会（仮称）」も検討 するとのことだが今後の計画を伺う。	